

# 障がいを知り、 共に生きる



このみずみずしさを未来へ

鳥取県

## はじめに

普段、私たちが眼鏡をかけたりお年寄りに少し大きな声でゆっくり話しかけたりするように、不自由さを補う道具や援助があれば、障がいのある人にもできることはたくさんあります。さまざまな障がいの特性やどういった配慮が必要なのかを正しく理解することが、障がいのある人もない人も一緒に暮らすことのできる、あたたかい地域社会を築く第一歩となるのです。

鳥取県では誰もが暮らしやすい地域社会を実現するため、多様な障がいを正しく理解し、障がいのある人へのちょっとした配慮や手助けができる「あいサポーター制度」を平成21年11月に創設しました。平成23年には島根県と広島県、平成25年には長野県、奈良県と連携協定を結び、あいサポーターの輪が全国に広がっています。

本書は、あいサポート企業・団体の取組を紹介した事例集です。さまざまな活動を通してあいサポート運動が広がり、障がいを知り、共に生きる、地域共生社会が実現することを願っています。

平成26年1月

鳥取県福祉保健部障がい福祉課

## 目 次

はじめに	2
------	---

目 次	3
-----	---

### <あいサポート企業・団体の取組>

ダイヤモンド電機(株)	4
-------------	---

(有)とうふ工房 雨滝	6
-------------	---

公益財団法人 鳥取県体育協会	8
----------------	---

(株)ハウスケアサービス	10
--------------	----

(株)井木組	12
--------	----

馬野建設(株)	14
---------	----

琴浦町役場	16
-------	----

(株)ホテルセントパレス倉吉	18
----------------	----

特定非営利活動法人 鳥取県障害者就労事業振興センター	20
----------------------------	----

(株)山陰合同銀行	22
-----------	----

浜田市立国府公民館	24
-----------	----

### <あいサポートメッセンジャーに聞く>

進木 紀子さん	26
---------	----

角 喜美江さん	27
---------	----

<参考>	28, 29
------	--------

思いやりのある豊かな社会を目指して

鳥取市

# ダイヤモンド電機(株)



▲社員を対象にした「あいサポーター研修」

## しょうがい者雇用の経緯

1967年5月に鳥取工場設立後、68年2月に内部しょうがい者を採用したことからしょうがい者雇用が始まった。当時、社長だった池永薫<sup>しげひ</sup>は「しょうがい者雇用は大切だ。しょうがい者を雇用しなさい」と唱え続けたが、しょうがい者が働きやすい職場環境ではなく、中途採用か中途しょうがい者が大半だった。

2005年に鳥取聾学校のインターンシップを受け入れた後、06年4月に初めて聴覚しょうがい者を新卒採用した。1カ月間の新入社員研修は外部機関と連携を図りながら、初めて手話通訳をつけて他の社員と一緒に教育した。

12年3月には知的しょうがい者を初めて雇用。能力があれば誰でも働くことのできる会社を目指し、ハローワーク、障害者職業センターなどと連携を図りながらしょうがい者雇用を進めている。

## <概要>

所在地／鳥取工場 鳥取市南栄町18番地  
本 社 大阪市淀川区塚本1丁目15-27  
代表者／代表取締役社長 池永重彦  
事業内容／自動車用点火コイル・電装部品  
暖房・給湯電子着火装置、  
冷暖房用および給湯器用制御装置  
燃烧器用着火トランス、  
各種電子制御装置の製造販売  
職員数／609人(鳥取工場) (2013年9月末現在)

## あいサポート企業になったきっかけ

「サポート21鳥取」代表の森本信行氏に、あいサポート運動・あいサポート企業についてご紹介いただいたことがきっかけ。『常に信頼を中心に置いて、全ての社員の幸せを追求し、思いやりのある豊かな社会を創る』という当社の経営理念に基づき、2012年4月に「あいサポート企業」として申請。同年5月8日に認定された。